

再開 知事が異存なしの意見

平取ダムやめよ

共産党はたやま道政策委員、真下道議が緊急申入れ



10月24日平取ダム予定地視察。左2人目から紙、真下、花井の各氏

結して建設の是非を検証しました。事業主体の道開発局は、建設を「妥当」とする「検証」結果を北海道に示し、道は29日に回答しました。

日本共産党北海道委員会は10月25日、高橋はるみ知事にたいし、工事を凍結している平取ダム建設再開について道開発局から求められている「知事意見書」で、拙速に答えを出さないよう求めました(写真下)。

国は、沙流川水系額平川に建設を予定している平取ダムの本体工事を凍結して再開している。道開発局は、06年11月に大橋晃議員(当時)が、国の環境調査検討委員会の調査で、

「解説」平取ダムは沙流川総合開発事業の一環として、苫小牧東部大規模工業基地への工業用水を供給することを主な目的として、二風谷ダムと平取ダム一体のものとして進められてきた。苫小牧構が破たんした後には完成した二風谷ダムは、03年8月の大雨の際、ダムが原因による下流域の富川地域で水害を引き起こしました。

ほっかい新報

2012年 週刊 月3回発行 (第1・2・3日曜日)

11月4日(第1889号)

発行所 ほっかい新報社
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話 011(726)4858
北洋銀行(普)0576770
Eメール:hokkaisinpoo@gmail.com
定価 月ぎめ 230円 1部80円(〒120円)
年ぎめ 2,760円(〒1,440円)

「雇用を変えて、社会を変えよう」「原発反対」「学費を下げる」「休みをください」、雨が降るあいにくの天気にも負けず、青年の元気な声が街中に響きわたりました。10月28日札幌で第三回北海道青年フェスタが開催されました。2010年からスタートした北海道青年フェスタも今年で三回目。「質的にも、量的にも変化を」と、実行

第3回北海道青年フェスタ

ただ、ひとえに「人間」らしく

委員会に参加する団体も増やしながら準備してきました。当日は50人の青年が北海道各地から参加。基調講演ではさっぽろ法律事務所神保大地弁護士が「憲法は個人の尊重を最も大切にしている。しかし、今の政治は大企業が個人よりも優先されている」と指摘し、「憲法には私たちがすべきこと、やるべきことが書かれています」と団結して政治を変えていこうと呼びかけました。(2面へつづく)



委員会に参加。基調講演ではさっぽろ法律事務所神保大地弁護士が「憲法は個人の尊重を最も大切にしている。しかし、今の政治は大企業が個人よりも優先されている」と指摘し、「憲法には私たちがすべきこと、やるべきことが書かれています」と団結して政治を変えていこうと呼びかけました。(2面へつづく)

沙流川洪水訴訟控訴審

ダムに頼りきった治水に厳しい審判

日高町議 菊地 日出夫



道建設部に要望(12.10.25)

9年前の8月、台風10号により沙流川の洪水により家屋・牧場などに被害を受けた日高町富川地区の住民らが「水門操作の不適切が原因として、国に計約9千万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決があり、国に約3100万円の支払いを命じた札幌地裁の判決を支持し、国側の控訴を棄却。国が上告を断念し判決が確定しました。高裁判決後に「道新」が「裁判では争点にはな

クマタカ、オオタカ、ヒメホオヒゲコウモリなど絶滅危惧種の生息・繁殖が明らかにしていることを示し、道としても意見を述べるべきと主張。これに対し、高橋知事は「良好な自然環境を有している。環境に十分配慮することが必要という認識に立って知事意見に対応したい」と答えました。

道開発局が依頼した「アイヌ文化環境保全対策調査(03年設置)でも、「平取ダム建設予定地とその周辺で、国指定天然記念物、絶滅危惧種などの希少猛禽類や営巣が確認されている。アイヌ語ではカマタカをシチカブと呼び、平取ダム建設予定地の芽生対岸には、シチカブウンナイ(クマタカ)の地名がある」と報告されています。

知事は29日、ダム再開に異存なしの意見。極めて不当なものです。道開発局は二風谷ダム建設時にダム堆砂は百年で550万m³と推計、実際は平成15年の大雨被害をふまえて1430万m³に上方修正、現在の堆砂量は1630万m³に膨れ上がっているとの説明。さらに「ダムの中で480万m³のくぼみがあったので問題ない」と説明を二転三転。二風谷と平取の2つのダムが放水した時に下流はどうなるのか、予測もされていません。

関係住民の意見を聞く会では7人のうち4人が反対を表明していることがあり、「意見交換」すら拒絶しているのでは、誠意ある対応とはいえないと厳しい批判しています。

開発局は二風谷ダム建設時にダム堆砂は百年で550万m³と推計、実際は平成15年の大雨被害をふまえて1430万m³に上方修正、現在の堆砂量は1630万m³に膨れ上がっているとの説明。さらに「ダムの中で480万m³のくぼみがあったので問題ない」と説明を二転三転。二風谷と平取の2つのダムが放水した時に下流はどうなるのか、予測もされていません。

焦点

先日、あるサークルの例会で集まった時、お互いの近況を語り合っていると、70歳を超えた友人はJR江別駅の近くに住み、日常的にAコープ江別店で買い物をしていて、ところが、この店が再来年(14年)には撤退を予定している。この店の利用者は約4千人、そのうち65歳以上のお年寄りは6割を占めている。店がなくなれば、近くのお年寄りは買い物難民になってしまう。同席していたKさんが、90歳近い私の知り合いがJR桑園駅の近くに住んでいて、歩いて数分のところに商店街がある。買い物するのは便利だったところが、そこにダイエーが進出してくると商店街がつぶされてしまった。ダイエーでの買い物は、駅前にはオゾンができた。今度は、ダイエーがなくなると、屋上に自動車学校を置いている巨大なイオンの登場、気の毒なことこの老婦人、ヘルパーさんが付き添って来てくれている。混然として買いたい物を見つけない、という。店がなくなった、という。店があっても買いたい物ができない、買いたい物は町村でも都会の真ん中でも生まれていない。解決が急がれる問題だ。

赤旗へ日曜版 定価800円(〒24) 一部200円 日本共産党中央委員会発行

道は原発ゼロの工程表を示せ

「第3回定例道議会をふりかえって」(上)

10月5日開会した12年度第3回定例道議会の焦点は、国会情勢が緊迫するも、消費税増税の阻止、泊原発再稼働を許さない道民の世論と運動を道政に届けたいことだ。

日本共産党の真下紀子議員は「泊原発の再稼働反対」「大間原発の建設中止」の声を道議会に反映させ、原発依存を続けさせるための原発マネーの問題を追究、道の教育行政のあり方と特別支援教育の充実、建設労働者の実態をとりあげ、労働組合からも喜ばれるなど、切実な要求実現の先頭に立ちました。

(党道議団事務局長・小田一郎)

泊周辺3町村、交付金で電気代割引24億円

真下道議は、電力の44%を原発に依存している本道で、知事みずからが原発ゼロに向けた工程表を作成し道民に示すよう求めました。知事は、「国の動向を見守る」との姿勢に終始。山形や長野、神奈川などの各県が、再生可能エネルギーの目標値を定め取り組んでい

るのとは雲泥の差です。また、泊原発の地元で、事実上の電気料金割引が行なわれていることを明らかにしました。

財源は電源3法にもとづく国の交付金を、経産省OBや電力会社社長らが理事を務める財団法人電源地域振興センターに補助金として道が支給。年一回、各家庭や事業者の電気料金振替口座に振り込みます。町として一

革プラン(仮称)素案」に対しての要望書を提出しました。

要望は、①地域住民・職員の要求や地域の実態を調査し、住民も含めた計画づくりを、②厳しい経営状況の根本的な要因と公立病院の役割を明確に、③地域住民の要求にもとづく医療内容の拡充をはかり、働く職員も元気になる経営計画を、④地元の合意のない「苦小牧病院廃止」はやめて、⑤独立行政法人化など経営形態の見直しはやめ、削除の5点です。



10月23日道庁内 左から医務連・温井、大橋、自治労連・東原、共産党下川、道民医連・佐藤、道社保協 沢野の各氏

対象のひとつ江差

はならない存在の道立江

00年から始まった卒後

れ、北海道が民間委託指

「改革プラン」の地元

ていることが議論され

5-8181

する有識者専門会議の議事録を精査。専門委員のひとり「昆布だしのみそ汁を毎日飲んでいれば(ヨウ素安定剤は)要らない」の発言を繰り返した問題をとらあげました。

電力会社等から研究費を受け取っている座長(元北大教授)は、「コンプで代用できる」との発言を、「実践的的確」と後押ししています。委員の任命責任を問われた知事は「安定ヨウ素剤の服用指示が出されること」が有効と答弁。コンプで代用できる、との発言を退けました。この質問は全国に配信されました。

紙議員、はたやま候補らと連携

紙智子参院議員、はたやま和也衆院比例候補らと実施した調査(9月14

道は「改革プラン」の中道立江差病院を次のように位置づけています。「南檜山第二次保健医療福祉圏において唯一の地域センター病院として、診療体制の確保に努めるとともに、圏域内で

新・道立病院事業改革プランに思う

唯一人工透析医療を実施。また、病院群輪番制に参加するとともに、災害拠点病院の指定を受け、地域において救急医療や災害医療の中心的な役割を果たしています」

江差町議 小林 栄治

江差町では「南檜山の医療を考える草の根の会」が活動を続けています。この出発点は、道立江差病院の改革が論じら

もの成長が見られるのがうれしい」と仕事へのやりがいを語ります。

しかし、「休憩時間も仕事で、お茶を飲む時間もない。家に仕事を持ち帰って、自分の時間も取れない。子どもの親の働き方も大変で、保育時間が過ぎて子どもを迎えに來ることができない人もいる」という実態の深刻さも出されます。

被災地で大企業の身勝

真下道議は知事に対し、ダム建設を進めるための計画変更が安易に同意しないよう主張。知事が事業の妥当性などを「総合的に検討する」考えを、議会で初めて示したことは重要だ。

一方で知事は、サンルダムについて、反対意見

真下道議は9月12日、夕張市を訪れ、鈴木直道市長らと懇談。財政支援の他、再生可能エネルギーの推進などで話し合い

夕張市長と懇談

真下道議は9月12日、夕張市を訪れ、鈴木直道市長らと懇談。財政支援の他、再生可能エネルギーの推進などで話し合い

お知らせ

13春闘共同総会&学習会

劇団一揆公演 ハッピーホーム 幸せな家族 原発、働く、幸せとは何か

納得、安保条約のお話

10日(土)13時30分〜札幌東区民センター3階(北11東7)

11・11今すぐ原発ゼロ札幌アクション

11日(月)札幌大通西6丁目広

5-8181

hokkaido.1e.jp

00年から始まった卒後

れ、北海道が民間委託指

「改革プラン」の地元

ていることが議論され

5-8181

hokkaido.1e.jp

5-8181